

公益財団法人MR認定センター

2025 年度事業計画

自 2025 年 4 月 1 日 至 2026 年 3 月 31 日

- MR 認定制度の 2026 年改定に向けてシステムの構築ならびに要綱・細則を策定する。
- センター登録企業を通じて現行の MR 認定制度を適正に推進する。
- センター登録企業を新制度に合わせて教育研修システムの再認定を実施する。
- 業界全体の教育研修の水準が高まるよう、教育研修の認定及び支援事業を推進する。
- MR テキスト 2025 の頒布・配信、MR 学習ポータルを提供する。

※以下表示金額は、税抜き本体価格である

1. MR 認定制度 2026 年度改定に向けた準備

1)MR 認定要綱及び細則の改正(2025 年 8 月 25 日公布予定)

(1)企業委員会での検討

- ・4－5)に記述

(2)企業との意見交換会の実施

- ・5 月、7 月、9 月、に東京と大阪の2会場で開催

(3)理事会、評議員会での決議

- ・理事会:6 月 3 日
- ・評議員会:6 月 23 日

(4)MR 認定要綱及び細則の企業および MR への説明

- ・3－2)に記述

2)制度改定に向けた各種システム開発

- ・MRO システムの設計および運用テスト
- ・MR ポータルの設計および運用テスト
- ・MRO、MR ポータル及び CBT システムの連携テスト

2. MRの資格認定事業(定款第4条第1号関係)

1)第 32 回MR認定試験の実施

- (1)試験実施日:2025 年 12 月 14 日 (日)
- (2)試 験 地:東京・大阪の2地区 [会場は現時点で未定]
- (3)受 験 者 数:約 1,000 名

- (4)受 験 料: 1科目 8,000 円
2 科目以上12,000 円
(5)出題形式:全問五肢択一問題とする。

2)MR認定試験問題の作成及び合否判定

(1)試験委員の委嘱

委嘱期間:2024 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日

(2)第 32 回MR認定試験の問題作成

試験委員会運営委員会にて試験問題を作成する。

(3)合格点の検討

正副委員長会議にて合格点を検討し、試験委員会にて合否判定案を策定する。

(4)理事会での合否判定

試験委員会で行った合否判定結果を理事会で承認する。

(5)合否結果の通知

1 月末に受験者に合否結果を通知する。

3)MR認定証の交付及び更新

(1)新規交付

- ①交付要件:試験の合格、実務教育を修了並びに 6 カ月の MR 経験を修了した者
- ②交付料:2,350 円(バッジ代含む)

(2)再交付

①対象者

- ・認定証の紛失、盗難、き損又は記載事項の変更等がある場合
- ・MR 基礎教育限定認定証を保有する者が MR 復帰プログラムを受講し修了認定された場合

- ②再交付料:2,000 円

(3)更新

- ①更新対象者:有効期限が 2026 年1月末日のMR認定証を保有する者
- ②MR認定証の更新要件:所定の認定研修及び更新時確認ドリル修了者
- ③更新予定者数:約 8,700 人
- ④更新料:5,000 円

(4)MR 基礎教育限定認定証での更新

- ①更新対象者:有効期限が 2026 年1月末日のMR認定証を保有する者
- ②更新要件:更新要件のうち、更新に必要な
最終年度の実務教育を修了認定されていない者

③更新予定者数:約 2,300 人

④更新料:5,000 円

4)2026 年度 CBT 導入準備

(1)CBT 準備委員会の開催

①目的:CBT の具体的運用を検討し試験委員会に答申する。

②検討項目

- ・合格基準スコア、評価スコアの検証
- ・出題方法の構築 ほか

(2)今後のスケジュール

- ・2025 年 12 月 試験要項の公表
- ・2026 年 4 月 受験申込開始
- ・2026 年 7 月 第1回 CBT 試験実施
- ・2026 年 11 月 第2回 CBT 試験実施

3. MR の資質向上等に関する調査研究及び広報事業

1)調査研究事業

(1)MR活動に関する実態調査(MR 白書)の実施

MR数等MRの実態や企業における教育研修の現状などについて毎年度調査を実施している。基本的な調査内容に加え、今注目すべき項目を改めて検討し、実施する。結果は「2025 年版MR白書」として公表する。

2)広報事業

(1)MR フォーラム 2025

2026 年度に改定する MR 認定制度について、制度の概要を解説するとともに MR 各自にとって何が変わり、どのような影響があるかを具体的な事例を紹介することで、MR 自身の制度理解と自立の促進を図る。

・開催日及び場所:

8 月 25 日(月) 13:30~16:30、東京コンファレンスセンター品川

・開催形式:

会場とオンラインライブ配信のハイブリッド形式

(2)大学での講義・講演

- ・東京薬科大学薬学部 医薬品情報特論(対象5年次)
- ・武蔵野大学薬学部 キャリアデザイン1
- ・明治薬科大学 薬学への招待(のうち 1 講義、対象 1 年次)

(3)学会等での展示及びシンポジウム

①日本薬学会第 146 年会

展示出展およびキャリアデザインセミナーを行い、薬学部学生及び教員に MR 認定制度を紹介し、MR 職への理解向上を図る。

②第 27 回日本医薬品情報学会学術大会

「病院薬剤部門を対象とした新型コロナウイルス感染症流行前後における市販直後調査の応需状況と変化に関する全国調査」について共同研究者としてポスター発表するとともに、製薬企業に対する調査を企画し実施する。

③JASDI フォーラム

年 4 回開催される JASDI フォーラムにおいて、MR 認定制度改革に関する講演を企画する。

(4)2026 年度 MR 認定制度改革に関する「記事広告」

業界内の認知度向上と医療界への周知および登録企業に対して準備を促すことを目的に記事を出稿する。

候補の掲載媒体

①薬事日報にて年 2 回程度(7～8 月ごろおよび 2026 年 2～3 月ごろ)

②薬学生新聞(薬学生向け)にて年 1 回(2026 年 1 月)

③月刊ミクスにて年1回(9～10 月ごろ)

(5)ヘルスケア産業プラットフォームとの共催企画

MR に対する 2026 年度 MR 認定制度改革の認知を高める目的で、MR が抱える課題の抽出と資質向上に向けた取り組みに焦点を当てた講演を企画する。

(6)就職支援を行うベンダーを通じた職種紹介

①薬学生のためのオンラインカレッジ(2025 年 4 月 26 日(土)収録)

薬学生に向けて MR と MR 認定制度について紹介し、キャリア形成の一助になることを目的とする。

②未来を拓く学びの場「My Career Study」

幅広い年齢層を対象にした Web コンテンツにおいて、MR 職と MR 認定制度を広く紹介する。

(7)薬科大学キャリアセンター訪問

関東・近畿圏の私立薬科大学キャリアセンターへ訪問し、受験資格拡大の広報活動を行う。

(8)センターWeb サイトの再リニューアル

2022 年 12 月にリニューアルしたが、MR 認定制度改定に伴いページ構成や紹介・説明内容を大幅に変更する必要があり、機能強化を含め再度リニューアルを行う。改訂作業は 2025 年度に行い、実装・公開は 2026 年 4 月を予定している。

4. MRの教育研修修了認定事業(定款第4条第2号関係)

1) 教育研修システムの認定及び再認定

(1) 教育研修システム(企業)の認定

①対 象:MRを対象とする教育研修を新規で実施する企業

②認定料:45,000 円

(2) 教育研修システム(実施機関)の認定

①対 象:企業に所属しない個人に対して、導入教育の基礎教育を自ら実施する教育研修事業者

②認定料:100,000 円

(3) 教育研修システム認定の再認定

再認定要件:教育研修システム認定講習会への参加及び自己点検の実施

① 教育研修システム認定講習会

・開催日・開催地:2026 年 2 月 17 日・東京、2 月 20 日・大阪(予定)

・内 容:中期事業計画、2026 年度 MR 認定制度改定の理解徹底等

・参加者:システム認定を受けた企業・実施機関の教育研修担当者

・参加費:1 名につき 7,000 円

② 自己点検

・内 容:2025 年 10 月～2026 年 2 月に各認定企業で実施し、2 月末までにセンターに提出

(4) 教育研修体制の管理

・企業及び導入教育実施機関の教育研修体制に変更が生じた場合は、MRO で速やかに登録変更を行う。

2) 教育研修の修了認定

(1) 導入教育の修了認定(基礎教育・実務教育)

・企業・実施機関による実施計画の届け出

・センターで内容確認の上、実施計画の受付

・企業・実施機関にて教育研修を実施したのち、実施報告申請

・センターで内容確認の上、修了認定

・認定料:1 申請当たり 300 円に教育研修対象者 MR 数を乗じた金額

(2) 継続教育の修了認定

① 基礎教育

・MR 学習ポータルに搭載の基礎教育年次ドリルの修了で自動的に修了認定

・MR 学習ポータルを利用しない企業は、計画の届け出、実施報告により修了認定

②実務教育

- ・企業による実施計画の届け出
- ・センターで内容確認の上、実施計画の受付
- ・企業にて教育研修を実施したのち、実施報告申請
- ・センターで内容確認の上、修了認定
- ・認定料:1申請当たり 300 円に教育研修対象者 MR 数を乗じた金額

(3)MR 復帰プログラムの修了認定

- ・センターは、企業が MR 基礎教育限定認定証保有者に対して実施する MR 復帰プログラムの内容を確認の上、修了認定する。
- ・1申請当たり 300 円に教育研修対象者 MR 数を乗じた金額

3)教育研修委員の委嘱

委嘱期間:2025 年 4 月 1 日～2027 年 3 月 31 日

4)教育研修委員会の開催

教育研修および認定制度に関する運用と課題、ならびに解決策の検討を行う。

(1)第 66 回教育研修委員会

2025 年 9 月(予定)

予定している議題

- ・2024 年度導入教育・継続教育実施報告まとめ
- ・企業委員会からの提案及び報告
- ・カリキュラム委員会の設置について・その他

(2)第67 回教育研修委員会

2026 年 3 月(予定)

予定している議題

- ・2025 年度教育研修に対する支援の実施報告
- ・企業委員会からの提案及び報告
- ・その他

5)教育研修に関する企業委員会

2026 年度に施行される改定 MR 認定制度において、公益性と公正性をより高めた認定制度および教育研修の運用および実施方法について、教育研修委員会の下部に企業の代表者から構成される委員会を設置し、検討する。

(1)スケジュール

2025 年 5 月～2026 年 2 月の計 4 回の開催

- 2026 年 3 月 教育研修委員会に答申
(2)今年度の主な検討項目
2026 年度要綱改正に向けての課題対応

5. MR および教育研修担当者への支援等の教育研修環境整備事業

1)教育研修の企画・実施に関する支援事業

(1)教育研修推進者会議の開催

目 的:業界全体の教育研修の充実強化を図る。

方 法:企業の事例発表、パネルディスカッション、小グループによるノウハウ交換等

参加者:教育研修推進者及び教育研修関係者(約 300 名)

開催日:2025 年 10 月 15 日(水) 会場とウェブ配信のハイブリッド開催

テーマ(案):実務教育認定基準パイロットの検証と課題対応

参加料:1 名につき 5,000 円

(2)実務教育進め方手引きの改訂

スケジュール

2025 年 5 月 企業委員会での検討

2025 年 9 月 教育研修委員会にて承認

2025 年 10 月 公表

2)MR サポート対策

2026 年度以降増加することが想定される MR 基礎試験、基礎教育、各種認定申請をはじめとした MR 個人からの様々な問い合わせにセンター事務局の人員を割くことなく対応できる仕組みを新たに構築、導入する。

6. 出版事業(定款第4条第3号関係)

1)MR テキスト 2025

(1)スケジュール(2025 版～2026 版まで)

2025 年 4 月 電子版および MR 学習ポータルを 2025 に更新掲載

2025 年 6 月 改訂作業の開始

2025 年 12 月 2026 版(紙版)の予約受注もしくは購入予定数量調査の実施

2026 年 3 月中旬 2026 版(紙版)の発送、改訂前後比較表の公表

(2)紙版の頒布と頒布価格

紙版は初学者向けに位置づけて、毎年度予約注文数 + α の限定数量を印刷し頒布する。在庫切れで頒布終了とする。

毎年軽微な改訂を行い、前年度版との新旧比較表を公表する。

医薬品情報 8,000 円

疾病と治療 15,000 円

MR 総論 8,500 円

(3) 電子版のアカウント販売価格

- ・ 毎年 4 月 1 日から翌年 3 月 31 日までの期限付契約制とする
- ・ 販売価格:3 科目を 1 セットとして 1,500 円／年・1 アカウント
- ・ 改訂を反映した最新版は、4 月 1 日にアップデートする

3)MR 学習ポータル

(1) 無料版

- ・MROに登録された者がアカウントを作成すれば利用を開始でき、マイページに記載された認定の有効期限、過去 5 年間の教育研修の履修履歴を確認することが可能

(2) 有料版

- ・マイページに加え、基礎教育年次ドリル、更新時確認ドリル及び電子テキストの利用が可能。
- ・利用料:1,890 円／年・1 アカウント
- ・利用期間:毎年 4 月 1 日から翌年 3 月 31 日まで
- ・電子テキスト:4 月に最新版に更新
- ・基礎教育年次ドリル及び更新時確認ドリル:8月にリリース

7. 設備投資について

- ・2025 年度は、設備投資として MRO 及び MR 学習ポータルの開発費として 45,302 千円(税込)を予定している。

以上